

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。  
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2012年 2月 1日発行

1月26日に、企業向けの「ワーク・ライフ・バランス力向上セミナー」を開催し、多くの企業の方に参加していただきました。渥美由喜先生からワーク・ライフ・バランスを推進するメリットをたくさん学ぶことができた講演会でしたので、報告いたします。2月14日、22日にはタイムマネジメント研修も開催いたします。



## 四日市市ワーク・ライフ・バランス力向上セミナー 企業経営に役立つワーク・ライフ・バランスを開催しました！

### 【ワークとライフの相乗効果】

ワーク・ライフ・バランス（以下、WLB）は、ワークとライフのどちらかを優先させる二者択一ではありません。メリハリのある働き方は、高い生産性を実現し、生活の余裕に繋がります。また、子育て・介護、自己啓発、趣味等の時間をもち、生活を充実させることは、インプットの機会をたくさん持つことになり、結果として、質の高い仕事に繋がっていきます。このように、WLBとはワークとライフの相乗効果ととらえていくことが重要です。



<渥美先生の講演会の様子>

### 【先進事例の紹介】

講演会の中で、渥美先生から、中小企業におけるWLBの先進事例としていくつか紹介していただきました。

1例目は、日頃から複数の業務を担当させる「多能職」を取り入れている事例です。これには、相互の仕事を補完できるとともに、自分の立ち位置を客観的に見ることにより業務の無駄を見直すことができるという利点があります。

2例目は、仕事を抱え込み、情報を共有しない「暗黙知」から誰もがわかる「共有知」への変革の重要性についてです。定期的に職場の異動や業務内容の変更を行う“ジョブローテーション”や休暇取得を促進すると、仕事を引き継ぐためのマニュアルを作成したり、業務代行するなかで、無駄がそぎ落とされ、スッキリした仕事の流れが作れるようになり、業務がスリム化するというメリットがあります。

3例目は、女性を積極採用し、業績を上げた建設業の事例です。従来の男性社員とは違った女性の視点で、自分の夢や希望を注ぎ込んだ企画書を作成した結果、そのことが評判となり、全国から引き合いが増えているそうです。

### 【介護休業ラッシュの可能性】

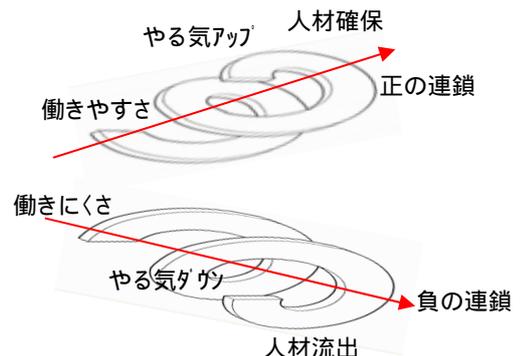
総務省「就業構造基本調査」によれば、2002年10月～2007年9月の5年間の介護離職者は56.8万人で、前回調査と比較すると緩やかな増加傾向にあります。渥美先生の調査では、10年後には年50万人を超える見込みで、特に企業にとって重要な働き手である40～50代の従業員がこの問題に直面すると思われます。現段階で育児休業すら取りにくい企業は、今のうちに策を講じておかないと、この介護休業ラッシュに対応できないでしょう。

### 【WLBは漢方薬のようなもの】

WLBの本質は、従業員のやる気を引き出しつつ、個人とチームの生産性を向上させ、無駄な業務をなくすことです。無駄が多い状態を続けていると、働きにくく、やる気がダウンし、有能な人材の流出につながる負の連鎖が起こります。正の連鎖がないと、人口減少社会の中で企業は生き残れません。

WLBの導入は、即効性はありませんが、じわじわ効いてくる漢方薬のようなものです。取り組めば取り組むほど強靱な企業体質になります。

選択の時は今なのです。



<渥美先生の講演資料より抜粋>

# もしかして…更年期? **心と体**にやさしい過ごし方講座

“もう更年期?”、“年齢的にまだけど、体調がすぐれない”、“もしかして更年期?”と悩んでいる女性、更年期の今を快適に過ごしたい女性、これから更年期をむかえるための心の準備をしておきたい女性のための3回連続講座です。ぜひご参加ください。

日時・内容

2月23日(木) 14時~15時30分 「更年期に勝つ！」

~更年期についてわかりやすくお話していただきます~

【講師】樋口恭仁子さん(四日市社会保険病院医師)

3月8日(木) 14時~15時30分 「ヨガで体のストレスを発散！」

【講師】伊藤ゆきえさん(楽ヨガ代表)

3月15日(木) 14時~15時30分 「タッピング・タッチ」

~指の腹で優しくタッチ! 心と体の緊張をほぐします

【講師】中川祥子さん(タッピング・タッチ協会代表 刺スティック心理教育研究所)

対象: 四日市市在住、在勤、在学中の女性

場所: 本町プラザ3階会議室 等

参加費: 3回通して1,000円

定員: 20名(応募多数の場合は抽選)

申込: 2月16日(木)までに、はもりあ四日市に電話・メール・ファクスのいずれかでお申込みください。

託児: 無料ですが、2月16日(木)までに予約が必要です。



## 傾聴同好会 講演会

### 「自殺予防と傾聴」

8月27日から9月4日に実施した「はもりあ四日市15周年記念事業」で、台風12号の影響により、3つの市民企画ワークショップが開催できませんでした。

そのうちの1講座を講師の方をお迎えして、3月に開催できることになりました。

当日自由参加ですので、ぜひご参加ください。

#### 【身近な人の悩みに気づき、耳を傾ける】

年々増え続ける自殺者数。その数は、交通事故死よりも高い割合を占めています。

相手の心に寄り添って話を聴くことを「傾聴」といいます。

孤独感や不安感を軽減することができる傾聴は、自殺予防の一つとして期待できるといわれています。心の悩みを抱えている人が、話したいことを話して、悩みを発散させる場の必要性等について、お話しいただきます。

#### 【講座のご案内】

<講師> 蒔田 勝義さん 鈴鹿医療科学大学保健衛生学部准教授

<日時> 3月3日(土) 13:00~15:00

<会場> 本町プラザ2階第1会議室

<参加費> 無料

<定員> 70名(申込不要、当日自由参加)

<託児> 無料ですが、2月21日(火)までに予約が必要です。



# 第1回 女性新ビジネスプランコンペティション が開催されます！

経済の低迷、少子高齢化に伴う労働人口の減少、東日本大震災からの復興といった様々な課題のもと、意欲ある女性の起業活動に期待が高まる一方で、女性の起業環境は、就業経験の少なさや家庭と育児の両立の問題などから、情報、ネットワーク、資金面などで様々な課題を有しており、こうした女性の起業に対する支援も、起業資金から起業後のノウハウ提供等まで包括的にサポートする仕組みがないのが実情です。

そこで(株)日本政策投資銀行は、新たなビジネスを志し、その成長を探る女性に対し、資金・ネットワーク・起業ノウハウ等の総合的なサポートを実施するため、「女性起業サポートセンター」を立ち上げるとともに、女性起業家を対象とした「女性新ビジネスプランコンペティション」を開催します。表彰は、DBJ女性起業大賞、同優秀賞、同震災復興賞の3つで、事業奨励金は最大1,000万円です。

## 【募集対象】

創業期にある女性経営者による事業で、技術、サービス、ビジネスモデル等において新規性あるいは高い付加価値が期待でき、かつ事業としての成長が期待できるビジネスプランを対象とします。

(例)・新たな市場を創造する事業、新技術開発を事業化するもの

- ・従来のサービス/製品に対し、顧客ニーズの変化等に対応し、新たな視点で刷新・改良するもの
- ・地域ニーズに密着したユニークな事業展開を実施しており、今後の事業発展の可能性が期待できるもの

## 【応募方法】

応募は1人1プランで、「エントリーシート」「エグゼクティブサマリー」「ビジネスプラン」の書類を提出する必要があります。応募締切は2月末で、5月に受賞者が決定する予定です。募集要項等詳細につきましては、「DBJ日本政策投資銀行」ホームページをご覧ください。

## 今月のおすすめ本

今月は、女性の人生について書かれている本を2冊ご紹介します。この2冊は、「はもりあ四日市」で貸出できます。



### 『わたしを生きる 女たちの肖像』 島崎 今日子 著

ジェンダーをテーマに幅広いジャンルで取材を続けるジャーナリスト島崎今日子さんが、作家、俳優、漫画家、衆議院議員、プロレスラー、スタイリストなど16人の女性たちの生き様を取材した本です。「女のくせに生意気だ」と嫌がらせを受けても、自らの力で前に進んで生きている女性たちの姿から、自分も頑張ろうという気持ちが湧いてくる本です。



### 『女は後半からがおもしろい』 坂東眞理子・上野千鶴子 著

『女性の品格』の坂東眞理子さんと『おひとりさまの老後』の上野千鶴子の対談をまとめた本。

「女はこうあるべき」という古い因習が残る中で、坂東さんは公務員 結婚 二児の母 管理職、上野さんは、研究職 夫なし 子どもなしという対照的な生き方をされてきました。対談の中で、“日本は性別の原理よりも年齢の原理のほうが優位に立つから、50代になったら男も女も関係ない”、“女は後半からがおもしろい”という話があります。なるほど、と思わせてくれる一冊です。

## 今月のキーワード

## ダイバーシティ

一般的には“多様性”と訳されます。人はそれぞれ、国籍・性別・文化・地域・年齢・学歴・ライフスタイルなどの多様な違いがあります。そういった多様な個々の「違い」を受け入れ、価値を認め、活かしていくこと、つまり『多様性の受容』という意味として使われています。

社会のあり方や顧客のニーズが多様化する今、企業も様々な従業員の多様なアイデアや価値観を活かすことが必須となってきています。そのためには、従業員が持つ価値観やニーズにあった働き方が選べるよう、多様な選択肢を用意することが求められています。

ダイバーシティという考え方を組織に取り入れることで、企業にとっては競争力、収益性、成長性を高める効果があり、従業員にとっては個人のワークスタイル、ライフスタイルを生かしながら、各自が持つ様々な能力を最大限に発揮できるようになります。

成熟した社会のあり方として、必然の考え方といえるでしょう。

## 登録グループイベント情報

### 輪読会「三重の女性史を読む」～働く女性を中心に～

近現代を生きた県内ゆかりの女性たちの歩みをまとめた「三重の女性史」を使って輪読会を開催します。第1回は、輪読を、第2回は東亜紡泊工場の「生活を記録する会」をリードした澤井余志郎さんをお迎えし、お話をうかがいます。

2月18日(土) 「三重の女性史」p.114～128 輪読

時 14:00～15:30 所 はもりあ四日市会議室

2月25日(土) 「東亜紡泊工場で働く女子工員たちの話」

- “生活を記録する会” と私 -

時 14:00～15:30 所 総合会館8階第5会議室

料 500円(2回) 定 30名(先着順) 託 あります(事前にお問い合わせください)

問 NPO法人四日市男女共同参画研究所(FAX 326-8514)

### 2月21日(火) 貯筋体操

筋肉維持、転倒予防の目的で行っている体操で、ストレッチ・スロートレーニングやセラバンド運動等を行います。初心者大歓迎！動きやすい服装でお越しください。

時 10:00～12:00 所 はもりあ四日市会議室 持 タオル・500mlのペットボトル2本

料 無料 問 まんなか(みえ医療福祉生活協同組合) 金森(TEL353-5893)

### 2月 8日(水) 玉響の会

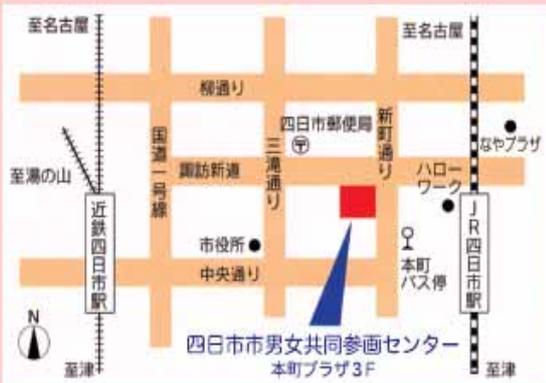
2月22日(水) 4Bから6Bの鉛筆で、やわらかい感じの“漢字”を書きませんか？

時 10:00～12:00(毎月第2・4水曜日) 所 はもりあ四日市企画室

料 1000円(1ヶ月) 問 玉響(たまゆら)の会 井上(TEL346-8752)

### あとがき

1月20日(金)に、四日市市は、管理職及び男女共同参画推進員研修を開催しました。この研修は、“男女共同参画の推進はまず市役所から”との考え方に立ち、職員の意識改革のために毎年実施しております。今年度は、三重大学人文学部准教授の石阪督規さんをお招きして、政策方針決定過程への女性の参画の必要性や男女共同参画の考え方の必要性、個人の能力を發揮するために必要なこと等さまざまな切り口でお話ししていただきました。「意識が変われば行動が変わる」。これからも職員全体の意識啓発を進め、“市役所発”で男女共同参画を推進していきます。



### 四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>